

リアルタイムPCR活用と次世代シーケンサ

【日時】： 平成22年8月11日(水曜日)
16:00～

【会場】： 岡山大学医学部 臨床講義棟 第1講義室

【演者】： ライフテクノロジーズジャパン株式会社

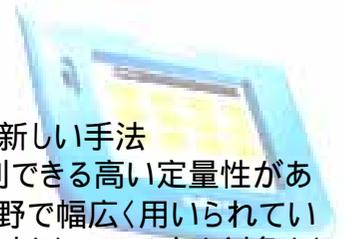
テクニカルサポート:大滝真作

次世代シーケンサグループ:斎藤宏幸

【対象】： 興味のある方

【リアルタイム PCR活用セミナー】

リアルタイム PCRの新しいアプリケーションとタンパク質を定量する新しい手法
リアルタイムPCRはダイナミックレンジが広く、2倍の差を正確に識別できる高い定量性があるため、遺伝子発現定量を行うための実験手法として多くの研究分野で幅広く用いられています。本セミナーではリアルタイムPCR経験者やこれから実施の検討をしている方を対象として、内在性コントロール選択の重要性など実際の実験を正確に行うためのポイントや新しい研究手法トピックスをご紹介します。特に今回は、タンパク質発現定量法の一つであるPLA法を適用した“TaqMan® Protein Expression Assays”をご紹介します。この製品はリアルタイム PCR を用いてウェスタンブロットングより高感度で定量性が高くタンパク質を定量することができます。また、mRNAなどの遺伝子発現解析のみならず、最近話題になっている、Primary-microRNA・microRNA・Non-coding RNAなどのSmall RNAを定量する手法に関してもご紹介します。リアルタイムPCRの手技範囲を発展させたい方やタンパク質の高感度な定量に興味がある方にも、有用な内容となっておりますので奮ってご参加下さい。



【次世代シーケンサ セミナー】

発現解析などのアプリケーション最新情報を、熱く語ります。



参加人数把握のため 8月6日(金曜日)までに、

共同実験室 086-235-7472 まで、教室(学籍)・氏名・内線をご連絡ください。

世話人:細胞組織学 小阪(内7085)

* 大学院医歯薬学総合研究科の単位認定の対象となりますので、院生は出席記録(配布済み講義要項)をご持参ください。